

令和3年度 社会福祉法人龍ヶ崎市社会福祉協議会 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【1】 会議等

	会議の名称／提案書発送日	案 件
理事会	令和3年5月31日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告並びに決算について ・評議員の招集について ・評議員候補者の選任について ・評議員選任委員の選任について
	令和3年6月28日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長及び常務理事の選定について
	令和3年11月11日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度上半期事業並びに収支状況報告について ・規定の一部改正について ・令和3年度資金収支補正予算について ・評議員会の招集について
	令和4年1月19日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選定について ・令和3年度社会福祉大会顕彰候補者について
	令和4年3月22日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・規程の一部改正について ・令和4年度事業計画並びに予算について ・評議員会の招集について ・役員等賠償保険の契約について
評議員会	令和3年6月28日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告並びに決算について ・理事及び監事の選任について
	令和3年11月26日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度上半期事業並びに収支状況報告について ・規定の一部改正について ・令和3年度資金収支補正予算について
	令和4年1月18日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について
	令和4年3月28日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・規程の一部改正について ・令和4年度事業計画並びに予算について
監 査	令和3年5月14日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度決算並びに法人運営状況について
龍ヶ崎市 公益法人 個人情報 保護審査 会	令和3年7月13日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の届出、変更、廃止、外部提供の情報報告について
	令和4年1月19日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の届出、変更、廃止、外部提供の情報報告について

【2】 事業

企画広報事業 【自主事業】

1. 広報啓発事業

(1) 会費の増強

当会の運営状況や各事業について広報活動を行うことで、当会の活動に対する理解と会費への協力、ボランティア活動に対する参加促進を図った。

<実績・効果等>

当会の活動に対する理解と会費に対する協力を得るため、住民自治組織に対し資料配布及び依頼を6月に行い7月から会費を募集した。また、9月から企業や事業所に賛助会員を依頼し協力を得た。 一般会計 5,614,815円 賛助会費 627,000 (90法人・団体)

(2) カレンダー作成

当会をPRするための媒体として令和4年度用カレンダーを作成し、令和4年3月から関係施設利用者及び各コミュニティセンターへ配布した。(2,000部作成)

(3) ホームページ運営事業

「しゃきょうだより」と連動しホームページを公開することで、当会に関する情報や地域福祉活動の状況について、随時、情報発信を行った。

アドレス <http://www.ryu-shakyo.jp/>

2. 社会福祉大会事業（ボランティア連絡協議会との協働事業）

令和4年3月5日（土）に大昭ホール龍ヶ崎（龍ヶ崎市文化会館）において、新型コロナウイルス感染症の感染予防を行い、社会福祉の発展に功績のあった方々の顕彰や市内小中学校児童生徒による標語作品の展示等を行った。

<実績・効果等>

顕彰	社会福祉功労者表彰	33件
	善行青少年表彰	該当者なし
	社会福祉協力感謝	4件
	標語入選者表彰	17件

※龍ヶ崎市役所ロビーや各コミュニティセンターに標語入選作品を展示した。

ボランティアセンター事業

1. ボランティアセンター事業 【市補助事業】

(1) ボランティアセンター運営

- ① ボランティア活動を行う個人やボランティア団体等を支援するため、研修会・会議・作業等自由に利用できるスペースを提供した。
- ② 地域活動の振興を図るため、ボランティアに関する情報を収集し、地域における活動者やこれから活動を始めようとする方の相談に応じ、協力者としてボランティアを紹介した。

<実績・効果等>

- | | |
|--------|-----------------------|
| ①延利用者数 | 5, 796人 (行政関係の会議等を除く) |
| ②相談件数 | 6件 |
| 紹介件 | 5件 |

- ③ 災害ボランティアセンター開設を想定し、運営訓練や関係機関との協力体制の構築を行った。

<実績・効果等>

令和3年5月24日(月) 一般社団法人竜ヶ崎青年会議所と災害協定を締結した。
災害ボランティアセンタープロジェクト会議を開催した(6回)。
市(危機管理課)主催の防災シンポジウムに参加し、災害ボランティアセンターのPRを行った。

(2) 福祉出前講座

学校で行う福祉学習について、学習プラン等について相談に応じながら、講師紹介や福祉機器の貸出を行った。

<実績・効果等>

- | | |
|--------|-------------------------|
| 支援活動件数 | 19件 |
| 延派遣人数 | 59人 |
| 支援内容 | 車椅子体験、アイマスク体験、手話体験、点字体験 |
| 備品貸出件数 | 7件 |

(3) みんなのボランティア講座事業

ボランティア活動の第一歩として、ボランティアの基本的な知識と技術等を習得することを目的とした講座を開講した。

<実績・効果等>

- | | | |
|------------|------|-----------------------|
| 音訳講座 | 実施回数 | 9回 (令和3年10月～令和4年2月まで) |
| | 受講者数 | 5人 |
| ボランティア入門講座 | 実施日 | 令和4年3月19日(土) |
| | 内容 | 盲導犬ってなに? 視覚障がい者への支援 |
| | 受講者数 | 16人 |

2. ボランティア振興事業 【自主事業】

(1) ボランティア連絡協議会活動支援

コロナ禍において休止していた活動の再開に向けて実施した視察研修に同行した。また、龍ヶ崎市ボランティア連絡協議会及びその活動について広報誌への掲載等により市民の認知度向上に努めた。

<実績・効果等>

登録団体数	37団体
事業	・ふれ愛交流事業（ふれ愛クリスマス） ・情報紙発行（年4回） ・小中学校等福祉学習への講師派遣 ・視察研修（龍ヶ崎朗読の会：つくば市社会福祉協議会）

(2) ボランティア保険

ボランティア登録者が安心して活動できるよう、ボランティア保険に加入した。また、各地域で自主的に実施されるボランティア行事に係る保険（全国社会福祉協議会の取扱）の進達を行った。

<実績・効果等>

ボランティア活動保険	39件（団体36件・個人3件）
行事保険	11件
送迎サービス補償	1件
福祉サービス補償	8件

3. 青少年ボランティア育成事業 【自主事業】

(1) ジュニアボランティア育成

小学校3年生から中学生を対象に、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、参加・体験型事業を実施し、地域における将来のボランティアリーダーの育成を図った。

<実績・効果等>

実施日	11月3日（水・祝）、11月27日（土）
延参加者数	17人
内容	スポーツごみ拾いゲーム、世界にひとつだけの絵手紙をつくろう
効果	ボランティア体験を通して、ボランティア活動や他者を思いやる心を養うことができた。

(2) 高校生ボランティアスクール

市内に在住・在学する高校生を対象に、ボランティア体験を通してボランティア活動への関心、福祉に対する理解を深め、地域におけるボランティアリーダーを育むことを目的に、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらボランティアや関係機関との協働によるボランティアスクールを開催した。

<実績・効果等>

実施日	11月3日（水・祝）、11月27日（土）
延参加者数	21人
内容	スポーツごみ拾いゲーム、盲導犬について学ぼう
効果	盲導犬の体験等を通して、視覚障がい者に対する理解を深めることができた。

ふれあいのまちづくり事業

1. ふれあいネットワーク事業 【自主事業】

(1) 小地域活動の振興

地域の困りごとについて他の地域での取組み等を紹介し、地域住民との信頼関係の構築に努めた。また、地域への訪問により収集した情報をまとめた「地域カルテ」や地域ごとの人口統計をホームページに掲載し地域の現状を周知した。

<実績・効果等>

訪問回数	142回
訪問先	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会等の役員、ボランティア関係者等
内容	地域コミュニティ協議会の会合や交流活動、防犯・防災活動への参加
ホームページへの掲載	7地区12件
しゃきょうだよりへの掲載	13地区13件

(2) イベント用品貸出事業

地域における福祉活動や交流等を目的とした自主的活動を支援することで地域におけるボランティア・福祉活動の振興と市民交流の促進を図った。

また、それらの事業に際し各種イベント用品の貸出等により、相互理解に基づくコミュニティづくりを支援するとともに、会費収納率向上の一助となるようPR活動の充実を図った。

<実績・効果等>

イベント用品（テント、大型鍋類、調理器具、せいろ、臼、杵、イベント用品等）	
貸出件数	43件（うち、AED6件）
貸出先	ボランティア団体、福祉施設、小中学校 ほか

2. ふれあい相談サロン事業 【市補助事業】

市民の日常生活に関する様々な問題の解決に向けて、相談員が専門的な見地から適切な助言や、関係機関への橋渡しを行い、市民が気軽に利用できる相談窓口として相談所を運営した。

(1) 心配ごと相談

<実績・効果等>

開催日数	24日（第1・3火曜日）
	13時30分から16時30分まで（最終受付16時）
相談員	心配ごと相談員 相談件数 25件
相談内容	家族・親族に関する相談、金銭・隣人とのトラブル 等

(2) 法律相談（要予約）

<実績・効果等>

開催回数	24回（第2・4金曜日）
	13時30分から15時55分まで（1回につき3名／各45分間）
相談員	弁護士 相談件数 59件
相談内容	相続・土地・離婚に関する相談、成年後見制度 等

3. ふれ愛給食サービス事業 【市補助事業】

引きこもり防止と安否確認等を目的として、市内在住の75歳以上のひとり暮らしの高齢者に対し昼食の宅配を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大によりボランティアによる調理並びに宅配を休止し、職員の訪問により市内業者の軽食を宅配した。合わせて小学校児童の手紙を届けることで、安否の確認と孤独・不安感の緩和に努めた。

<実績・効果等>

開催日 東地区（毎月第1木曜日）／ 西地区（毎月第2木曜日）
南地区（毎月第3木曜日）／ 北地区（毎月第4木曜日）

利用登録者数 161人（3月末日現在）

職員による延訪問件数 1,668件

※城ノ内小学校、龍ヶ崎小学校児童によるメッセージカードを訪問時に届けた。

4. 交流サロンりゅうの運営（中央支所内） 【市補助事業】

地域に暮らす高齢者、障がい者、育児中の親子等が集い、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりに活用できるサロンを運営するため、安心・安全に利用していただけるよう感染症予防対策を講じながら、事業の企画・実施や効果的なPRを行い、利用促進を図った。

<実績・効果等>

中央支所 開設日数 293日

延利用 279人

（会費受付 21件 / ボランティア相談・受付 2件 /
車椅子貸出 16件 / ふれあい相談サロン受付 2件 /
老会記念品引換 203件 / きずなBOX 7件 /
その他 28件）

交流サロンりゅう

開設日数 293日

※講座休講期間 令和3年8月6日（金）から9月30日（木）

延利用者数 3,412人

サロン活動 2,709人

いきいきヘルス体操（毎週月・木曜日）／ 輪投げサロン（毎週月曜日）

健康マージャン（毎週火曜日）／ いきいき健康倶楽部（隔週火・水曜日）

折り紙（毎週水曜日）／ 思い出を語ろうかい（隔週火・水曜日）

太極拳（毎週木曜日）／ レクリエーションの日（毎週金曜日）

卓球サロン（毎週土曜日）／ スポーツ吹き矢講習会（隔週土曜日）

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

・童謡（隔週土曜日）

・カレーの日（毎月第2・4金曜日）

・そばの日（毎月第1・3金曜日）

お茶飲み 620人

その他 81人

団体利用 1団体2人

5. 善意銀行運営事業 【自主事業】

善意に基づき寄せられた金品の預託・配分を通して、本市における社会福祉活動の振興を図った。

<実績・効果等>

預託件数及び金額

ライオンズクラブ外 4件・103,700円

中学卒業祝い金の支給

生活困窮世帯の支援を目的とし、龍ヶ崎市の学習支援事業及び居場所づくり支援事業を利用する中学3年生を対象に卒業祝い金を支給した（1世帯1万円）。

支給件数 7世帯

NPO法人フードバンク茨城への支援

緊急かつ一時的に食品の提供が必要な方への支援を行う上で連携している、NPO法人フードバンク茨城に賛助団体加入費相当額（1万円）を寄付した。

地域福祉推進事業

1. 生活支援事業 【自主事業】

(1) 災害見舞金事業

龍ヶ崎市及び日本赤十字社龍ヶ崎市地区との連携により、火災等の災害にあった世帯に対する見舞金を支給した。

<実績・効果等>

見舞金支給額 半壊・半焼 10,000円 全壊・全焼 20,000円

支給件数 火災（半焼）0件 （全焼）1件

(2) 交通遺児支援事業

交通事故により親を亡くした遺児の小学校、中学校卒業に際し、茨城県社会福祉協議会との連携により支度金を支給する。

<実績・効果等>

令和3年度は該当者なし

(3) 福祉機器、福祉車両貸出事業

一時的に車椅子や介護機器が必要となった市民の方に対し、無料で短期間の貸出を行うことにより、地域生活や在宅介護を支援した。また、車椅子使用者が通院等の移動に際し、車椅子に乗ったまま搭乗できるリフト車両の貸出により在宅介護を支援した。

<実績・効果等>

車椅子 132件（地域福祉会館103件 中央支所16件 佐貫西口支所13件）

福祉機器（シャワーチェア、4点支持杖、歩行器など） 15件

車いす用福祉車両 35件

2. 生活福祉資金貸付事業 【県社協委託事業】

(1) 生活福祉資金貸付事業

所得の低い方、障がいのある方等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。なお、実施主体である茨城県社会福祉協議会から事務委託を受け、本市における貸付申込世帯の相談や進達を実施した。

<実績・効果等>

全相談件数 1, 4 2 3 件 全進達件数 5 6 3 件 (本則貸付 5 件・特例貸付 5 5 8 件)

①総合支援資金

離職した方等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援(就労支援、家計指導等)や生活費及び一時的な資金の貸付を必要とし、自立が見込まれる世帯の相談に応じた(生活支援費、住宅住居費、一時生活再建費)。

<実績・効果等>

相談件数 3 件 進達件数 1 件

②福祉資金

所得の低い世帯、障がいのある方のいる世帯又は高齢者世帯に対し、日常生活を送る上で、又は自立生活を資するために、一時的に必要であると見込まれる費用の貸付に関する相談に応じた(福祉費)。

また、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に費用の貸付けを行った(緊急小口資金)。

<実績・効果等>

福祉費	相談件数	8 件	進達件数	2 件
緊急小口資金	相談件数	5 件	進達件数	2 件

③教育支援資金

所得の低い方に対し、就学のための資金(教育支援費)や準備資金(就学支度費)の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

教育支援費	相談件数	0 件	進達件数	0 件
就学支度費	相談件数	1 件	進達件数	0 件

④不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保とし生活費の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

不動産担保型生活資金	相談件数	1 件	進達件数	0 件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	相談件数	0 件	進達件数	0 件

<特例貸付>

新型コロナウイルス感染症に起因する休業・失業等により、収入の減少のあった世帯に対し、当面の生計を維持するための生活費用の貸付に関する相談に応じた（緊急小口資金、総合支援資金）。

<実績・効果等>

相談件数	1, 405件
総合支援資金進達件数	406件（初回進達215件 延長進達57件 再貸付134件）
緊急小口資金進達件数	152件

(2) 臨時特例つなぎ資金貸付事業

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない方に対して、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの生活費の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

相談件数	1件
進達件数	0件

3. 緊急小口貸付金事業 【自主事業】

昨今の厳しい社会情勢を背景とした雇用環境の悪化や高齢化社会の進展等による被保護者が急増しているため、生活保護費の支給事務が完了されるまでの間において、緊急一時的な小口資金の貸付を行った。（貸付限度額 1世帯につき20,000円まで）また、生活困窮世帯に対し、「食の支援」を緊急に行うことで当面の食生活を支援した。

<実績・効果等>

貸付件数	30件
貸付総額	600,000円
※フードバンク	（食料提供件数67件 寄付受付件数99件）

4. 日常生活自立支援事業 【県社協委託事業】

認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方等、判断能力が不十分で、親族等の援助が得られない方に対し、福祉サービス利用手続、日常生活の金銭管理や書類等の預かりサービス等を行い、自立した地域生活を送れるよう日常生活を支援した。

また、新型コロナウイルス感染症に感染した利用者に対し、療養のためのホテル利用手続やその後の在宅生活を支援した。

<実績・効果等>

利用契約者	19人（3月末日現在）	※新規契約2人、解約3人
	内訳	認知症高齢者 5人、精神障がい者 7人
		知的障がい者 5人、高次脳機能障害 1人
支援内容	金銭管理（銀行での預金引き出し）、書類預かり（通帳）他	
実施日	各利用者につき、月1回程度	
生活支援員	14人	

5. 障がい者地域生活支援事業 【市補助事業】

障がいのある方の地域における生活を支えるため、当市の実情に合わせた各種サービスを実施した。

(1) スポーツレクリエーション事業 **中止**

身体、知的に障がいのある方々の社会参加促進を目的として、例年、茨城県障害者スポーツ大会への参加支援を行っていたところで、5月に競技会（個人・団体）が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

(2) 点字・声の広報等事業

視覚に障がいのある方に対し、福祉技術ボランティアによる広報物等の点訳用紙や音訳CDを盲人用郵便物としてお届けすることで日常生活を支援した。また、音訳CDを視聴できるよう当会及び龍ヶ崎市役所の窓口に備えた。

<実績・効果等>

- | | | |
|-----|-----|----------------------------|
| ・点訳 | 実施 | 竜ヶ崎市点訳友の会 |
| | 内容 | りゅうぼー、時刻表、カレンダー、長寿食 365日 等 |
| | 対象者 | 5人 |
| ・音訳 | 実施 | 龍ヶ崎朗読の会 |
| | 内容 | りゅうぼー、しゃきょうだより、市政情報誌 等 |
| | 対象者 | 11人 |

(3) 手話入門講座

聴覚に障がいのある方に対する理解の促進と、地域におけるボランティアの普及を目的として開催した。

<実績・効果等>

- | | |
|------|----------------------------|
| 実施回数 | 8回 |
| | (令和3年10月9日から12月4日の間の土曜日実施) |
| 受講者数 | 6人 |

共同募金配分金事業 【自主事業】

1. 老人福祉活動事業

(1) シルバーカー購入助成事業

シルバーカーを購入した方に対し助成金を交付することにより、高齢者の日常生活の便宜を図るとともに健康及び福祉の増進に寄与することを目的とする。

対象 市内在住の65歳以上の高齢者

助成額 購入金額の2分の1（助成限度額5千円）

<実績・効果等>

- | | |
|------|----------|
| 助成件数 | 74件 |
| 助成金額 | 367,800円 |

(2) ふれ愛会食会事業

給食サービス利用者の外出への意欲向上と引きこもり防止を目的として、会食を伴わない「おたのしみ会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。代替として市内業者から購入した和菓子や保育園児による創作物を届けた。

<実績・効果等>

実施日	令和4年3月3日(木)、10日(木)、17日(木)、24日(木)
延訪問人数	143件
協力	しらはね認定こども園

2. 障がい児・者福祉活動事業

(1) ふれ愛キャンプ(ボランティア連絡協議会との協働事業) **中止**

障がいのある人もない人もすべて平等という立場で、協働の一泊二日のキャンプを通してお互いにふれあい、理解を深めることを目的に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

(2) ふれ愛広場(ボランティア連絡協議会との協働事業) **中止**

市民の交流を通して障がいのある人とない人の相互理解とボランティア活動の普及啓発を図るため、ボランティア団体の手作りによる文化と福祉を融合させた福祉まつりの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

3. 児童・青少年福祉活動事業

(1) チャイルドシート等購入助成事業

子育て支援の一環として、乗車中の幼児の安全確保及び経済的負担の軽減を図ることを目的とし、チャイルドシートを購入した世帯に対し、費用の一部を助成金として交付した。

対象 市内在住の2人以上の幼児の保護者

要件 第2子目以降の幼児が使用するために購入した場合(1世帯につき1台のみ)

助成額 購入金額の2分の1(助成限度額5千円)

<実績・効果等>

助成件数	30件
助成金額	141,500円

(2) 青少年育成事業支援

子どもたちが地域において健康で心豊かに成長していけるよう、龍ヶ崎市子ども会連合会の活動を支援する事業であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども会の活動が休止となったため支援は行わなかった。

4. 福祉育成・援助活動事業

しゃきょうだより発行

当会の事業や施設、活動についてわかりやすく伝える紙面づくりに努めた。特に、新型コロナウイルス感染症拡大により多くのボランティア活動や地域活動が休止となった中、コロナ禍での取り組みや地域福祉に関する記事を掲載することで、啓発と活動への参加促進を図った。

<実績・効果等>

発行	全戸配布版	4回（6月・9月・1月・3月）※33,000部
内容	地域活動報告、事業案内（利用案内）、ボランティアサークル紹介、ふれ愛レシピ等	
	しゃきょうだよりプロジェクト会議	3回

5. ボランティア活動育成事業

福祉団体やボランティア団体を助成することにより、地域における市民活動の振興を図った。

<実績・効果等>

団体の活動及び活動再開にむけた支援を行なった。 助成件数 5件

6. 歳末たすけあい事業

(1) ふれ愛クリスマス（ボランティア連絡協議会との協働事業）

障がいのある人もない人もすべて平等という立場で、レクリエーション等を通してお互いにふれあい、理解を深めることを目的に開催した。

<実績・効果等>

開催日	令和3年12月12日（日）	
場所	地域福祉会館	
内容	サンタクロースと記念写真撮影 等	
参加者数	障がい児	18人
	ジュニアボランティア	8人
	高校生ボランティア	5人
	ボランティア	37人

(2) 歳末ふれ愛訪問事業

ひとり暮らしの高齢者への支援として、ボランティアが新年を迎えるにあたり伝統的なお節料理を調理し宅配するとともに、年末の見守り活動を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により職員がお節料理（加工品）と馴染小学校児童制作の正月飾りを宅配し見守り活動を行った。

<実績・効果等>

開催日	令和3年12月22日（水）、12月23日（木）、12月24日（金）、 12月27日（月）	
宅配件数	149人	

(3) 歳末地域たすけあい助成事業

共同募金事業の一環である「歳末たすけあい募金」を原資として、年末年始における市民の自主的なたすけあい・ささえあいの活動に対し助成し、やさしさ溢れるふれあいのまちづくりを推進するため、住民自治組織はじめ関係団体に周知を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大より助成申請団体はなかった。

いきがい交流事業 【自主事業】

(1) 社協会長杯いばらきねりんスポーツ大会（ボランティア連絡協議会協力事業）**中止**

ふるさとふれあい公園を会場とし、「いばらきねりんスポーツ大会」の予選会を兼ねたスポーツ大会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

(2) 利用者交流会 **中止**

長寿会連合会の協力により、施設利用者の交流を目的として12月に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

(3) 親子創作教室（絵画）

ふるさとふれあい公園アトリエで活動する絵画クラブの協力により、就学児童の家庭を対象とした絵画教室を8月に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止し、代替事業として「絵画交流会」を開催した。

<実績・効果等>

開催日 令和3年11月14日（日）

参加者 親子3組6名 協力者 絵画クラブ会員 7人

(4) 親子創作教室（陶芸）

ふるさとふれあい公園アトリエで活動する陶芸クラブの協力により、就学児童の家庭を対象とした親子参加型の陶芸教室を開催した。

<実績・効果等>

開催日 令和3年7月29日（木）

参加者 親子5組13名 協力者 陶芸クラブ会員 5人

(5) 季節交流会

施設利用者の参加型イベントとして、施設利用者の交流を目的とした花壇の植栽やレクリエーションを実施した。

<実績・効果等>

開催日 令和3年12月10日（金）

参加者 16名 会場 ふるさとふれあい公園

在宅福祉サービス事業 【市補助事業】

高齢や障がいのため日常生活を送る上で支障がある方に対する支援を目的とし、会員制（利用会員、協力会員）による家事援助等の有償在宅福祉サービスを実施した。

サービス時間 月曜日～土曜日（日曜日、祝日、年末年始は休業）

午前9時～午後5時（1回2時間以内で週12時間を限度）

主なサービス 食事の支度、衣類の洗濯・補修、居室の掃除等 利用料1時間あたり650円

<実績・効果等>

登録人数	利用会員	8人	協力会員	8人
活動状況	延訪問回数	89回	延時間数	89時間

地域ケアシステム推進事業 【市委託事業】

保健・医療・福祉の関係者の連携に基づき、高齢者や障がいのある方等が総合的かつ効果的に各種福祉サービスを受けられるよう必要な援助を行い、要援護者が住み慣れた家庭や地域の中で安心して暮らせるよう支援した。

<実績・効果等>

会議

- ・ケース検討会議（クイック会議）10回
- ・在宅ケアチーム数 8チーム（3月末現在）
- ・ケース訪問回数 延べ68回
- ・相談件数 延べ164件

各種協議会への参加

- ・障がい者自立支援協議会への参加（地域居住支援部会1回、計画検討部会1回）
- ・在宅医療・介護連携推進会議への参加（連携推進部会5回、地域ケア部会9回）

※また、例年、地域住民を対象に障がい者理解を目的とした講座を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

元気サロン松葉館運営事業 【市委託事業】

高齢者の生きがいつくりや健康づくりなどを目的とした各種事業を実施するサロンを運営した。

<実績・江華島>

開設日 204日

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和3年8月6日（金）から9月30日（木）まで休館

※臨時休館 令和3年8月5日（木） 受水槽清掃

利用者 327人（延8,976人 / 1日平均44.0人）

はつらつサロン 延参加人数 8,238人

（太極拳、書道、俳句、詩吟、歌、手芸、絵手紙、折り紙、囲碁、いきいきヘルス体操、元気アップ体操、ラージボール卓球、健康麻将、ドミノゲーム、思い出を語ろうかい）

敬老会事業 【市補助事業】

長年、地域の発展に寄与された高齢の市民に対し、感謝の意をもってその長寿をお祝いするとともに、敬老思想と高齢者福祉の意識高揚を図った。

なお、大昭ホール龍ヶ崎（龍ヶ崎市文化会館）において9月20日（月・祝）に予定していた記念式典は、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

<実績・効果等>

- ・敬老祝金の支給
- ・記念品の配布 対象者 11,248人

総合福祉センター運営事業 【指定管理事業】

龍ヶ崎市より指定を受け、指定管理者として龍ヶ崎市総合福祉センターの管理及び運営を行い、高齢者の自立的な生活の援助、機能の向上を図ることを目的に各種福祉事業を実施した。

(1) 高齢者福祉センター事業

高齢者に対して健康増進・介護予防、教養・趣味活動、レクリエーション等に関することを総合的に供与し、高齢者が健康で明るい生活を送り、生きがいを高めることができるよう各種事業を実施した。

施設・設備 大浴場、集会室、教養娯楽室、多目的室、ロビー
事業 相談事業・介護予防事業、趣味教養活動等

<実績・効果等>

開館日数 308日

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年8月6日(金)から9月30日(木)まで全ての個人・団体利用を休止（窓口業務のみ）

センター延利用者数 18,184人
(個人 12,467人 / 団体 5,717人)
※1日平均59人

60歳未満市内居住者 177人

60歳以上市内居住者 12,290人

60歳以上市外居住者 0人 ※利用制限（市内の方のみ）

【クラブ活動利用者数】

舞踊	101人	囲碁	444人
卓球	25人	フォークダンス	148人
民謡	84人	手芸	4人
健康マージャン	1,240人	俳句	130人

【団体活動利用者数】

利用者数 3,403人

【いきいきヘルス体操】

延参加者数 163人

(2) 長寿会事業

高齢者が仲間づくりをしながら各種活動を通して地域に貢献し、生きがいを高めることを目的として実施を予定していた事業・活動は、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

<実績・効果等>

【本部】

理事会 6回開催

女性会員交流会 令和3年11月11日(木)・25日(木) 参加者42人

奉仕作業、単位長寿会会長会議は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

【文化部会】

会議 3回開催

「あなたの川柳」募集 116作品応募

長寿大学、健康マージャン交流大会は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

【体育部会】

会議 1回開催

高齢者スポーツ大会、高齢者スポーツルール研修会は新型コロナウイルス感染症拡大より中止した。

【顕彰】

第60回茨城県老人クラブ大会(開催中止) 被顕彰者 2人

地域福祉会館管理事業

【市補助事業】

龍ヶ崎市地域福祉会館の維持管理を行い、福祉活動の拠点施設としての有効な運営を図った。

<実績・効果等>

龍ヶ崎市より受託し、施設・設備の維持管理及び貸出管理を行ったところ、会議や研修会、また各種福祉活動の会場として活用された。また、消毒や来場者の検温等により新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めた。

施設：相談室、ボランティアセンター、会議室、調理室、録音室 等

佐貫西口支所運営事業**【市補助事業】****(1) サロンの運営**

地域の結びつきと住民の健やかな生活を育むため、地域のボランティア等と協力し、地域住民が集い、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりの拠点となるサロンを運営した。

<実績・効果等>

実施日数 128日

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年8月6日(金)から9月30日(木)までの利用を休止

延利用者数 917人

活動内容	将棋・囲碁の時間	356人	スマホ教室	49人
	健康マージャンの時間	140人	ヨガの時間	73人
	おもちゃ病院	114人	子育てサロン	26人
	いきいきヘルス体操	159人		

※いきいきヘルス体操は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年5月・6月・8月・9月・令和4年2月・3月は休止

※童謡の会は休講中

(2) 支所の運営

福祉活動に関する情報の収集・提供を行い、住民が取組む活動や地域を基盤とした団体の活動を支援した。また、福祉事業や制度の案内、関係機関への橋渡し等の相談業務を行った。

<実績・効果等>

開設日数 293日

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年8月6日(金)から9月30日(木)までの利用を休止

延利用者数 1,282人

受付・案内 673件 福祉・生活相談 50件

ボランティア相談 5件 車椅子貸出 13件

ふれ愛ネット 91件 社協会費・共募 21件

その他 429件(移動店、寄付受付、まちづくりポイント交換 等)

商品販売 792件

(3) 住民活動の拠点づくり**<実績・効果等>****①談話室**

開設日数 248日 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和3年8月6日(金)から9月30日(木)まで利用を休止

延利用者数 845人(大人利用737人 / こども利用54人 / 団体利用54人)

②多目的室

開設日数 248日 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和3年8月6日(金)から9月30日(木)まで利用を休止

延利用者数 2,884人

延利用団体 183団体

1. 障害福祉サービス事業所ひまわり園

障害者総合支援法の規定に基づき、茨城県知事の指定を受けた障害福祉サービス事業所の運営を行った。

＜実績・効果等＞

在宅の知的に障がいのある方の利用事業所として、個々の能力、特性に応じ、その可能性を十分に伸張することで家庭や地域生活の自立を支援した。新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、利用者、職員ともに感染することなく事業を行った。

開設日数	242日		
延利用者数(合計)	9,667人		
①生活介護	利用契約者数	36人	延利用者数 6,937人
②自立訓練(生活訓練)	利用契約	0人	延利用者 0人
③就労移行支援	利用契	1人	延利用者数 224人
④就労継続支援B型	利用契約者数	12人	延利用者数 2,506人
⑤いきいき体操	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止		
⑥染物教室	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止		
⑦給食サービス			延利用者数 9,390人
⑧入浴サービス			延利用者数 628人
⑨送迎サービス			延利用者数 16,671人
⑩日中一時支援事業			延利用者数 1,438人
(身体障がい者 53人・知的障がい者 1,385人)			

2. 障害福祉サービス事業所あざみ

障害者総合支援法の規定に基づき、茨城県知事の指定を受けた障害福祉サービス事業所の運営を行った。

＜実績・効果等＞

在宅の身体に障がいのある方の利用事業所として、身体機能・生活能力の維持向上の訓練や日常生活の相談支援を行った。

開設日数	242日		
契約者数	13人		
①生活介護(リハビリ訓練含む)	延利用者数	2,027人	
②給食サービス	延利用者数	2,027人	
③送迎サービス	延利用者数	3,089人	
④健康指導	延利用者数	694人	
⑤口腔ケア支援	延利用者数	116人	
⑥創作的活動	延利用者数	1,156人	
⑦社会適応訓練	延利用者数	571人	
⑧スポーツレク	延利用者数	794人	

3. 指定特定相談支援事業

令和3年度の障害福祉サービス報酬改定により、従来評価されていなかった計画作成月、モニタリング対象月以外の支援が新たな報酬評価となったことで、これまで以上に充実したサービスの提供ときめ細かな支援ができた。なお、各契約者に対して、丁寧かつ有意義な福祉サービスが提供できるよう常に他の関係機関と連携を図りながら相談業務を実施した。

<実績・効果等>

現契約者数(合計) 126人

【サービス利用支援(新規・継続)】

障害福祉サービス等を申請した障がい児・者について、その心身の状況、置かれている環境等を勘案し、サービス等利用計画案を作成した。また、支給決定後においては、当該決定の内容を反映したサービス等利用計画書を作成した。

サービス計画案作成件数 63件

【モニタリング支援】

サービス等利用計画が適切であるかどうかを一定期間ごとに検証し、その結果を勘案し利用計画の見直しと変更を行った。

モニタリング報告書作成件数 240件

【集中支援】

予定されたモニタリング月以外での臨時のサービス調整等(訪問・会議開催・会議参加)を行った。 支援件数 39件

ふるさとふれあい公園運営事業 【指定管理事業】

龍ケ崎市より指定管理者として指定を受け、龍ケ崎市ふるさとふれあい公園の管理運営を行った。また、市民が自然の中で創作活動やスポーツを楽しむ憩いの場として利便性の向上に努めた。

施設 アトリエ和室工作室及び窯室、ゲートボール場、多目的グラウンド、ディスクゴルフ場、グラウンドゴルフ場、野外ステージ等

<実績・効果等>

開設日数 303日

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年4月25日(日)から8月5日(木)、令和4年1月21日(金)から3月21日(月)までアトリエ棟、屋外運動施設の利用を一部制限

令和3年8月6日(金)から9月30日(木)まで全ての個人・団体利用を休止(窓口業務のみ)

延利用者数 23,676人

○クラブ活動延利用者数

・陶芸クラブ 1,327人 ・絵画クラブ 70人
・切絵クラブ 68人 ・パッチワーク 114人

○施設延利用者数

・アトリエ工作室 311人 ・アトリエ和室 22人
・アトリエ窯室 239人 ・ゲートボール場 2,248人
・多目的グラウンド 2,686人 ・ディスクゴルフ場 4,931人
・グラウンドゴルフ場 3,899人 ・野外ステージ 7,580人
・バーベキューエリア 181人

障がい者自立化支援事業 【自主事業】

障がいのある方にとって、販売経験を重ね市民との交流を深める機会を得ることは有意義な社会的活動であるとともに、当該活動が障がい者福祉に対する啓発活動の一助となることを期待し、各事業を実施した。

1. 福祉の店ひまわり

龍ヶ崎市森林公園内に設置した「福祉の店ひまわり」にて販売実習を実施した。

<実績・効果等>

営業日 123日間

火～日曜日営業（月曜定休日）※7月21日（水）から8月5日（木）毎日営業

※新型コロナウイルス感染拡大による休業期間 8月6日（金）から9月30日（木）

実習生 5人

送迎ボランティア：ひまわりの会

2. Cafe たつこのこ

龍ヶ崎市総合体育館（たつこのこアリーナ）内に設置した「Cafe たつこのこ」において、喫茶コーナー及び物販コーナーの運営により販売実習の場を提供した。

<実績・効果等>

営業日 223日間

火～日曜日営業（月曜定休日）※7月23日（金）から8月2日（月）毎日営業

※新型コロナウイルス感染拡大による休業期間 8月6日（金）から9月30日（木）

実習生 2人

運営ボランティア：龍ヶ崎市障害児・者の会あおぞら会

3. 福祉の店りゅう

中央支所に併設した「福祉の店りゅう」の運営により販売実習の場を提供した。

<実績・効果等>

営業日 293日間

実習生 4人

運営ボランティア：龍ヶ崎市心身障がい者育成会

・福祉の店移動販売

各地域を拠点とし、地元農作物や米、食料品等をステーション方式による販売を行い、城ノ内コミュニティセンターと馴馬台コミュニティセンターを新たな販売拠点に加え10箇所で行った。

<実績・効果等>

実施日 166日間（移動販売100日、宅配（米）54日、宅配（日用品）12日）

実習生 5人

販売拠点 10箇所（コミュニティセンター、佐貫西口支所 ほか）

4. 福祉の名刺屋さん

名刺を市内の公共機関、民間事業所、個人等から受注し、専門機材を用いて作成、販売した。

<実績・効果等>

実施日 毎週水曜日（作成作業）

実習生 3人

受注件数 319ケース

